

～平成30年度貸出用購入図書のご紹介～

●阿部公房とわたし



山口果林
とわたし
安部公房

山口 果林 著
1993年1月、
ノーベル賞候補の文学者は、
女優の自宅で倒れ、
還らぬ人となった。
二人の愛は、
なぜ秘められなければ
ならなかったのか？

.....

●牧水の恋

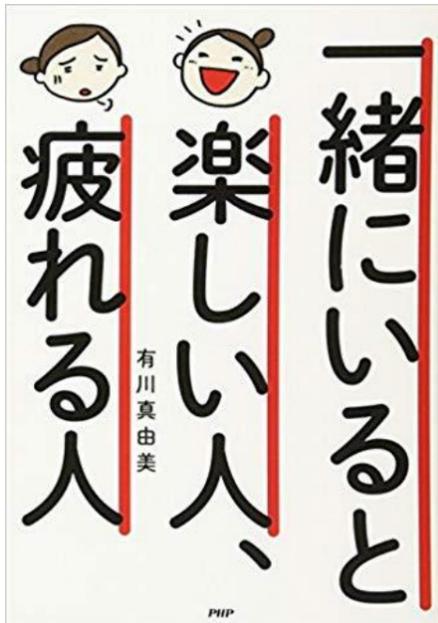


俵 万智 著

白鳥は哀しからずや空の青
海をあをにも染まずただよふ

旅と酒の歌人・若山牧水は、
恋の歌人でもあった。
若き日々をささげた恋人の持つ秘密とは。
恋の絶頂から疑惑、別れまでの秀歌を
味わいつくすスリリングな評伝文学。

●一緒にいると楽しい人、疲れる人



有川 真由美 著

- 第1章 「会話がはずむ人」になる
- 第2章 「気持ちのいい人」になる心と行動のクセ
- 第3章 「疲れる人」は、どんな人？
- 第4章 「気にしない人」になる心と行動のクセ
- 第5章 「魅力的な人」には、わけがある
- 第6章 「ほめる人」になる
- 第7章 「疲れる人」への対処法

●極上の孤独



下重 暁子 著

孤独は愉しい！

孤独ほど、
贅沢で愉快なものはない。
一人の時間が劇的に変わる、新・孤独論。

●不自由な男たち その生きづらさは、どこから来るのか



田中 俊之 × 小島 慶子 著

「俺って何？」男だって、弱音を吐きたい

今、男性に必要なのは「あなたは、苦しんでいい」「不自由だと言っていい」というゆるしであり、女性に必要なのは「彼と私のしんどさは同じだ」「彼と私は、実は同じ異議申し立てをする仲間なんだ」という気づきです。

～小島慶子「はじめに」より～

●住まいで「老活」



安楽 玲子 著

家の中は、危険がいっぱい！しかし、正しい知識と決意があれば、ぐっと快適で安全な暮らしを実現できる。

健康寿命を延ばし、認知症の周辺症状が治まることも。1000件近い要介護者の自宅を訪問し、コンサルティングやケアリフォームを手がけてきた著者が、そのエッセンスを惜しみなく開陳する。

●見る力



阿川 佐和子 / 大塚 宣夫 著

「介護は長期戦と心得よ」
「イライラしたら笑っちゃおう」
「好物は喉につまららない」
「恋は長寿の万能薬」

父を看取り認知症の母をケア...

実は介護経験豊富なアガワが、高齢者医療の第一人者と語り合う、正しい介護、理想の老後

●イラストと図解でよくわかる！ 前向き離婚の教科書



森元 みのり 監修

～もう悩まない、もう落ち込まない。
気持ちがラクになる4つの準備～

損せず、もめず、スムーズに

よりよい離婚を考える人へ。

●AIとBIはいかに人間を変えるのか

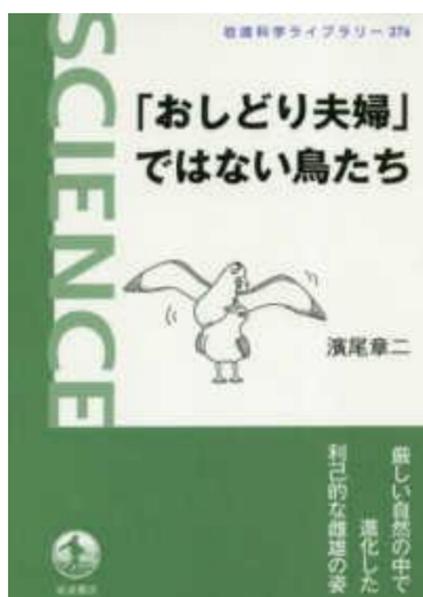


波頭 亮 著

～「お金儲け」が
うまいだけの人はもういない。～

人類史上初、
我々はずいに「労働」から解放されるー。
この歴史的な大転換をどう生きるか！

●「おしどり夫婦」ではない鳥たち



濱尾 章二 著

～厳しい自然の中で進化した
利己的な雌雄の姿～

一見、不思議に見える鳥たちの興味深い生態を
わかりやすく解き明かす

●かがみの孤城



辻村 深月 著

堂々の7冠受賞作！

- * 2018年本屋大賞
- * 王様のランチブック大賞2017
- * ダ・ヴィンチBOOK OF THE YEAR2017
- * 埼玉イチオシ本2017
- * 第11回神奈川学校図書館員大賞
- * 熊本県学校図書館大賞2017
- * 啓文堂書店文芸書大賞

●家族のあしあと



椎名 誠 著

家族がみんなですら笑った日。
時代を超えて胸に迫る、一族の肖像。

シーナ少年が海辺の町で過ごした黄金の日々。
「岳物語」前史、謎多き大家族の物語。

.....

●銀河食堂の夜



さだ まさし 著

大きな人生なんてない。
ただ、小さな幸せがあるだけ。

謎めいたマスターが旨い酒と肴を出す、
四つ木銀座にある風変わりな飲み屋を
舞台に繰り広げられる、
不思議で切ない物語。感涙の連作長編。

.....

●銀河鉄道の父



門井 慶喜 著

直木賞受賞作！

宮沢賢治はいかにして
想像力豊かな作家になったのか。
父、政次郎の視点から描く、
感涙必至の「親子」小説。

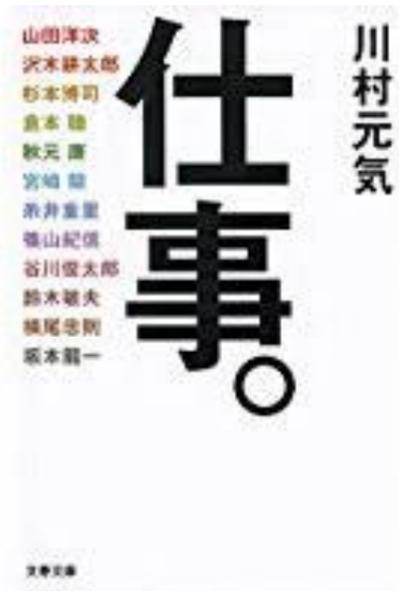
●終わった人



内館 牧子 著

シニア世代の眼前の問題であり、現役世代にとっても将来避けられない普遍的テーマを、シリアスに、ユーモラスに、そしてリアルに描く。

●仕事。



川村 元気 著

「私と同じ年の頃、何をしていましたか？」
「悩んだとき、どう乗り越えましたか？」

大人になってからのほとんどの時間、僕らは仕事をしている。だとしたら僕は人生を楽しくする仕事がしたいー。
川村元気が12人の巨匠に学んだ、仕事で人生を面白くする力！

●その後とその前



瀬戸内 寂聴 / さだ まさし 著

東日本大震災が起こる一年前と、被災から半年後。

「この国」を思う二人が、今、日本人はどう生きるべきかを語り尽くした。変わるべきことは、何か。変わってはいけないことは、何か。過激で愛に満ちた叱咤とエールが詰まった、